



井野辺病院の理念

人々がいきいきと暮らせるように、
リハビリテーションを通して
地域社会に貢献する
常に高い目標をもち、人生の
質の向上に努める

Contents

新年のご挨拶

INNOVATION 1
リハビリテーション・
ケア合同研究大会

INNOVATION 2
第3回非常食の取り組みについて

INNOVATION 3
永年勤続者表彰式

INNOVATION 4
夜間帯総合防災訓練を
行いました。

HAPPY NEW YEAR

2026



HAPPY NEW YEAR 2026

新年のご挨拶

医療法人畏敬会
井野辺病院 院長

井野邊 純一

新春の候、皆さまにおかれましては健やかに新年をお迎えのことと存じます。旧年中は井野辺病院の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

2025年を振り返りますと、地域医療を取り巻く環境は大きく変化し続けました。高齢化の進展や医療技術の進歩に伴い、私たちに求められる役割は一層広がっております。当院も「人々がいきいきと暮らせるように、リハビリテーションを通じて地域社会に貢献する、常に高い目標をもち、人生の質の向上に努める」を理念に掲げ、予防から回復期、生

活期まで一貫した支援を行ってまいりました。

特に昨年は、患者さまやご家族との対話を重視し、医療の「質」と「心」を両立させる取り組みを強化いたしました。地域の皆さまに向けた健康講座や公開セミナーも継続し、生活に寄り添う病院でありたいと努めております。

そして本年1月には、病院機能評価の審査を受ける予定です。医療の安全性・質の向上を客観的に確認いただく大切な機会であり、地域の皆さまにより信頼される病院となるための取り組みの一環です。職員一同、日々の診療や業務の改善を積み重ね、審査を通じてさらに高い水準の医療を提供できるよう努めてまいります。

さらに2026年は、リハビリテーションの更なる充実を重点方針として掲げます。病棟でのリハビリ量の確保、中枢性麻痺改善のための専門的プログラム、誤嚥性肺炎予防のための訓練を強化いたします。加えて、在宅系サービスの拡充により、退院後も安心して療養生活を続けられる体制を整えます。新しい技術の導入にも積極的に取り組み、バーチャルリアリティを活用したリハビリ、神経難病への電気刺激療法、新しい徒手療法(MCP)、足底板の導入などを進め、患者さま一人ひとりに最適な医療を提供してまいります。

2026年は「つながり」を大切に一年といたします。医療スタッフ同士の連携はもちろん、地域の皆さま、行政、介護・福祉施設との協働を深め、安心して暮らせる街づくりに貢献してまいります。

新しい年が、皆さまにとって健康と笑顔に満ちた一年となりますよう心より祈念いたします。本年も井野辺病院をどうぞよろしくお願い申し上げます。

副院長 兼 管理者

石松 俊之

新年 あけましておめでとうございます。皆さまには健やかに新年をお迎えのこととところよりお慶び申し上げます。

令和7年は記録的な猛暑、また「働き方改革」や「就労人口減少による人手不足」、「物価高騰」など、医療機関にとって困難な状況は続いております。今後も医療、介護、福祉サービスを提供し続けることは非常に大変なことで、今後の人材確保は大きな問題となり、当院にも国際化の波が押し寄せてきました。令和8年は、これまで以上に医療、介護、福祉の分野で地域に貢献できるように頑張っていきたいと思います。また1年、どうぞよろしくお願いいたします。

事務部 部長

三宮 良雄

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

当院は、今年も「安全・安心な医療の提供」を最優先に、皆様の健康をサポートしてまいります。患者様本位の医療を心がけ、充実した看護・介護サービスとリハビリテーションプログラムを通じて、皆様の回復と健康維持をお手伝いいたします。

また、職員一同、接遇の向上にも継続して取り組み、皆様に寄り添った対応を心がけております。さらに、医療設備の更新も計画的に進め、より良い医療環境の整備に努めてまいります。

本年も何卒よろしくお願いいたします。

看護部 部長

古椎 久美

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、患者さんやご家族、地域の皆さまからの温かなご支援に、心より感謝申し上げます。1月の病院機能評価受審や4月の診療報酬改定など、2026年は大きな節目を迎える一年となります。どんな時も「患者さんがその人らしく過ごせるように」を第一に、看護部の理念「患者に寄り添う看護を提供し、その人らしく暮らせるように支援する」を胸に、チームの力と“つながり”を育みながら、心の通う看護を届けてまいります。教育・研修の充実、働きやすく成長できる職場づくりにも力を注ぎ、地域に信頼される看護部を目指します。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。皆さまにとって、健やかで笑顔あふれる一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

リハビリ部 部長
作業療法士

加藤 貴志

新年あけましておめでとうございます。本年も皆様にとって素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

本年は韓国にて世界神経学会(WCNR)が開催されます。WCNRは脳卒中やパーキンソン病など神経疾患に関するリハビリの世界で最も権威ある学会です。その年の世界最新のリハビリテーションが飛び交います。アジアで開催されるめったにない機会ですので、リハビリ職員の参加を実現し世界最新のリハビリを当院に輸入できるよう努力してまいりたいと思います。また発表にも挑戦し、世界のレベルに近づけるよう日々の臨床を頑張っていきたいと思います。

本年も当院を利用される皆様の健康にお役に立てるよう頑張てまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

病床管理部 部長

井上 雅章

新年あけましておめでとうございます。昨年も地域の皆さまや、関係医療機関のご支援により、安全で安心な医療を提供することができました。病床管理部では、地域の医療機関と連携し、リハビリテーションを必要とする方ができるだけ早くスムーズに入院できるよう努めています。また、患者さんが入院中も安心して快適に過ごしていただけるよう、入院前のご相談から入院中のお手伝い、退院後の生活支援まで、スタッフ全員で力を合わせてサポートしています。

これからも学びと工夫を重ね、地域の皆さまに寄り添いながら、信頼していただける医療環境づくりに取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

リハビリテーション・ケア合同研究大会



作業療法士 西田 詩織



理学療法士 五島 理子



作業療法士 岸本 周作

リハビリテーション・ケア合同研究大会での発表と学び

11月21日・22日の両日、大阪にて開催された「リハビリテーション・ケア合同研究大会」に参加しました。全国各地から熱意ある多くの医療・介護専門職が集まり、活気に満ちた雰囲気の会場の中、当院からは若手を含む3名の理学療法士・作業療法士が演題発表を行いました。

発表当日を迎えるまでの過程は、まさに試行錯誤の連続でした。日々の多忙な臨床業務の合間を縫い、目の前の患者様のリハビリ成果を客観的なデータとして集計・分析し、第三者に伝わる論理的な構成へと練り上げる作業が続きました。「専門職として、何をどう伝えるべきか」を自問自答し、予演会を経て臨んだ本番。緊張感の中でも堂々と質疑応答に応じるスタッフの姿は、非常に頼もしく、当院にとって大きな誇

りでもあります。また、会場での多岐にわたる講演や他施設の発表に触れ、リハビリテーション医学の急速な進歩を肌で感じました。昨日の常識が今日も通用するとは限らない現代において、常に最新のエビデンス(科学的根拠)を学び、自身の臨床と照らし合わせる作業は不可欠です。「現在の治療は本当に最適か」「より効果的なアプローチはないか」を常に問い直す、極めて有意義な研鑽の機会となりました。

現状維持は後退に他なりません。学びを止めることなく、常に知識と技術のアップデートを続けます。大阪で得た新たな知見と刺激を、明日からの皆様のリハビリテーション・ケアに確実に還元し、地域医療の質の向上、そして患者様の生活の質(QOL)向上に全力で貢献していきます。



HAPPY
NEW YEAR
2026

栄養課 甲斐 愛祐美

非常食の取り組みについて

第3回

病院の非常食は期限が来たらどうなるの？

広報誌いずみを愛読のみなさま、こんにちは。連載企画『井野辺病院の非常食の取り組みについて』今回は最終回になります。早いですね…(しみり)。最終回の今回は『病院の非常食は期限が来たらどうなるの？』です。当院ではローリングストック(普段から食べている食品を買い置きし、賞味期限の古いものから消費して、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品を備蓄しておく方法)を採用しています。ですので日々の献立に使用している佃煮やおかずを非常食の献立に入れたり、非常食として作られている御飯やお汁は、毎年3月と9月を防災月間とし非常食を使って調理した料理を提供しフードロスにも努めています。さて全3回に渡って当院の非常食の取り組みについてお話しさせていただきました。みなさまの生活の参考になりましたでしょうか？それではまた、いつかお会いできる事を願って。

INNOVATION 3

永年勤続者表彰式

2025年9月3日

永年勤続者表彰式を行いました。



勤続25年2名、20年4名、15年6名、10年7名、5年12名でした。職員の長年の努力と貢献に心から敬意を表し、これからも変わらぬご活躍を期待しております。

INNOVATION 4

夜間帯総合防災訓練を行いました。



今回は、スタッフが患者役となって、夜間の火災を想定して病棟で訓練を行いました。消防への連絡・消火活動を行うと同時に患者さんの避難誘導を本番さながら実施し、緊急時の連携や行動手順を確認する有意義な機会となりました。



外来担当医一覧表

2026年1月1日現在

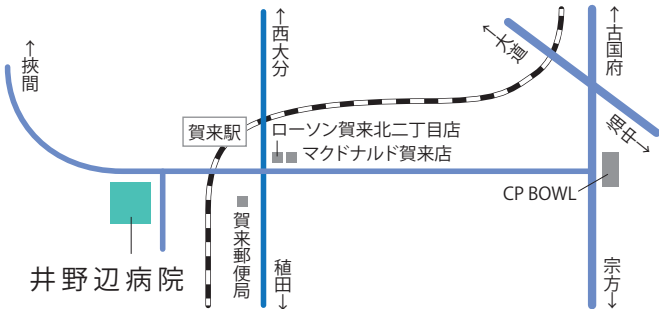
診療科		月	火	水	木	金	土
一般内科	午 前	井野邊 純一（院長）	井野邊 純一（院長）	井野邊 純一（院長）	井野邊 純一（院長） ※手技外来	井野邊 純一（院長）	木村 卓
			石松 俊之	石松 俊之	木村 卓		那須 眞示
	午 後	家原 麻理 佐々木雄基	第2・4・5週 那須眞示 木村 卓	内科医	新関 佳子	家原 麻理 渡部 優子	石松 俊之
リハビリテーション科	午 前	井野邊 純一（院長）	井野邊 純一（院長）	井野邊 純一（院長）	井野邊 純一（院長）	井野邊 純一（院長）	
整形外科	午 前	岡崎 啓治		岡崎 啓治		岡崎 啓治 （受付12時まで）	第1・3週 岡崎 啓治 （新患のみ） 第2・4週 大学病院Dr
	午 後						
神経内科	午 前	井野邊 純一（院長）	井野邊 純一（院長）	井野邊 純一（院長）	井野邊 純一（院長）	井野邊 純一（院長）	
		渡部 優子		渡部 優子 ※物忘れ外来	佐々木 雄基 ※物忘れ外来		
	午 後	佐々木 雄基				渡部 優子	
脳神経外科	午 前	佐藤 公則					
	午 後				佐藤 公則		佐藤 公則
循環器内科	午 前						手嶋 泰之
	午 後		江崎 かおり	第1・3週 井野邊 義人			
膠原病内科	午 前					熊木 美登里	
	午 後		熊木 美登里				
内分泌・ 糖尿病内科	午 前		永井 聡			濱口 和之	
	午 後	家原 麻理			家原 麻理	家原 麻理	
呼吸器内科	午 前				木村 卓		木村 卓
	午 後		木村 卓				
消化器内科	午 前		石松 俊之	石松 俊之	那須 眞示		那須 眞示
	午 後		第2・4・5週 那須眞示			石松 俊之	石松 俊之
泌尿器科	午 前						
	午 後					大学病院Dr（隔週）	
皮膚科	午 前						
	午 後			齋藤 華奈実			
ペインクリニック	午 前		山下 徳次郎				
	午 後						

※右記の診療科のみ受付時間にご注意ください。			循環器内科	膠原病内科	皮膚科	整形外科	泌尿器科
受付時間	午 前	8:30～12:30	8:30～12:00	8:30～11:30		8:30～12:30	
	午 後	13:30～17:00	13:30～17:00	13:30～16:30	13:30～17:00		13:30～16:30
診療時間	午 前	9:00～13:00	9:00～12:30	9:00～12:00		9:00～13:00	
	午 後	14:00～17:30	14:00～17:30	14:00～17:00	14:00～17:30		14:00～17:00

井野辺病院の運営方針

- 【リハビリテーション・ケア体制】 急性期から在宅医療まで、充実したリハビリテーション・ケア体制を提供する。
- 【医療体制】 安全で質の高い医療を、インフォームド・コンセプトに基づいて提供する。

- 【職員の育成】 患者・家族から必要とされる職員になるための教育に努める。
- 【健全経営】 職員の満足度向上に努める。



●JR 賀来駅より徒歩 20 分 ●大分バス中尾バス停より徒歩 3 分

日本神経学会認定教育関連施設
日本リハビリテーション医学会研修施設

医療法人畏敬会
井野辺病院

〒870-0862 大分市大字中尾字平255番地
TEL 097-586-5522 FAX097-586-5656
ホームページ <https://www.inobe.or.jp>
診療時間：午前9時～午後5時30分（日・祝休診）

